# 会議録

会議名	令和元年度 第1回印西市子ども・子育て会議
開催日時	令和元年7月18日(木)午後2時00分から午後3時50分まで
開催場所	印西市文化ホール2階多目的室
出席委員	西村 信会長、島浦 美智子委員、岩井 基委員、塩田 幸子委員、塚田 昌幸委員、 片岡 一郎委員、杉山 充子委員 計 7名
欠席委員	加島 朋子委員、横山 賢一委員、古賀 一人委員、小谷 博子委員、海老原 由美委員 計 5名
出席職員等	[健康子ども部] 部長 小川 誠一郎 [事務局] 子育て支援課 髙橋 幸江、堀越 庄一、海老原 勝人、木村 裕子 [関係課] 保育課 岩井 大治、大菅 孝幸、鈴木 正子、菅谷 幸司、渡邊 素規 健康増進課 坂本 郁子 子ども発達センター 田久保 正樹 学務課 渡辺 義規 、加藤 知巳、藤代 悠子 生涯学習課 関ロ 節子
傍聴者	3名
会議次第議題	<ol> <li>開会</li> <li>会長あいさつ</li> <li>議題         <ul> <li>(1)第2期印西市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査結果について【資料1】</li> <li>(2)第2期印西市子ども・子育て支援事業計画策定のための団体ヒアリング実施結果について【資料2】</li> <li>(3)その他</li> <li>その他</li> </ul> </li> <li>(5)閉会</li> </ol>
配布資料	・令和元年度 第1回印西市子ども・子育て会議 会議次第 ・【資料1】子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査結果報告書 ・【資料2】子育て支援関係団体等ヒアリング要録

#### 会議概要 · 審議経過

委員交代の報告

事務局の紹介

健康子ども部長からのあいさつ

出席者7名で過半数を超えていることを報告

資料の確認

# 1 開 会

## 2 会長あいさつ

西村会長からのあいさつ

### 3 議 題

- (1) 第2期印西市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査結果について
- ○事務局より説明

### ○質疑

- 【委員】 アンケート報告以後のタイムスケジュールはどのようになるか。
- 【事務局】 アンケートについては、見込み量の算出と施策の展開の資料として使用する。
- 【委 員】 事業計画等のスケジュールはどのようになるか。
- 【事務局】 10月半ばに予定している次回会議において、見込み量と確保策、事業計画の素案を提示する予定である。
- 【委員】 事業計画と来年度の計画はリンクするのか。
- 【事務局】 国から示されている見込み量と確保策は各年度で算出するのでリンクするが、事業計画の施策は5年後までに目指す場合はリンクしてこない。
- 【委 員】 アンケートからの感想は、「どちらでもない」が多いと感じる。人口推計は変化しており、待機児童が増えることは予測されたので、切迫感をもって市としての重点施策を検討してほしい。 意見として考えてほしい。
- 【委 員】 感想であるが、「やや不満」や「不満」が多くなるのは、心理的に今後期待があると多くなるという印象がある。
- 【委員】 アンケートの中で、「相談する人がいない」、「子育てが辛い」という人がいるが、この アンケート調査では、そのような人への対応が見えてこない。このような人への対応 をしないと産後うつの問題、虐待などにもつながり、事件が起きる可能性もあると考 える。
- 【事 務 局】 「相談する人がいない」、「子育てが辛い」という少数の方に対しては、健康増進課の

健診時などに対応したり、児童館などの相談窓口で対応している。サービスを知らない方には、個別で対応している。虐待については、教育委員会、保育課、健康増進課と連携して強化している。

- 【委員】 アンケートで少数派の方についても事業計画の中で、位置づけてほしい。アンケートのP. 45、問13、児童発達支援事業は少ないが、必要な人には重要な事業である。計画策定では、障害福祉計画とも整合性をとってほしい。
- 【事務局】 福祉の中では、少数派の方を見つけていくことが難しいが、計画の中に盛り込むこと を考えている。今回の計画では、子育て全般まで広げる予定であるので、障害福祉計画とも整合性をとりながら策定する予定である。
- 【委 員】 個人的なアンケートの考察である。一般のアンケートでは「子育てを地域で支える」 が多いが、子育て世代では「身近に相談できる人が少ない」が多くなっているので、 手を貸したい人と手を借りたい人がうまくかみ合っていないので、市の方でうまく調整して頂きたい。

資料2に「情報が少ない」とあるが、同世代の情報はあると思うが、市全域の情報や 世代を超えた情報があるとよい。

P. 29、問6、「見てもらえる人」が「いずれもいない」が15.5%であるが、これは平均的であるのか。

- 【事務局】 全国的な数値があるわけではないが、都会に近いところでは、すごく多いとはとらえていない。
- 【委 員】 P. 49、問16、地域子育て支援事業の利用が少ないと感じる。他の地域はどのようになっているか。
- 【事務局】 次回までに調べておく。
- 【会 長】 「第2期印西市子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査結果について」は、事務局の説明でよろしいか。
- 【委員】 全員異議なし。
- (2) 第2期印西市子ども・子育て支援事業計画策定のための団体ヒアリング実施結果について ○事務局より説明

#### ○質疑

- 【委 員】 感想であるが、利用者等の数字があるとよいと感じる。
- 【委 員】 「子ども発達センターをアピールした方がよい」とあるが、今でも手一杯であるので、 市の方でフォローが必要と感じる。
- 【委 員】 他の地域で、発達センターは、就学前だけと聞いているが、印西市はどうなのか。
- 【事務局】 印西市も就学前である。小学校以降は、支援学級、支援学校、放課後デイサービスで 対応している。

【委 員】 発達障害等は、就学前ではわからず、小・中学校でわかるケースもあるので、印西市では、幅広くケアして頂きたい。

【会 長】 江戸川区では、児童館で進めているので、印西でも考えているのではないか。

【事務局】 今年度から学習支援事業を実施する。児童館での小・中学生の利用は今後検討していく。

【委員】 場所はどこか。

【事務局】 大森地区の公民館を予定している。状況を見ながら広めていく。対象者は、ひとり親と生活困窮者である。

【会 長】 「第2期印西市子ども・子育て支援事業計画策定のための団体ヒアリング実施結果について」は、事務局の説明でよろしいか。

【委員】 全員異議なし。

(3) その他

○質 疑

なし

## 4 その他

- ○事務局より連絡事項等
- ・次回会議予定について

## 5 閉 会

令和元年度第1回印西市子ども・子育て会議の会議録は事実と相違ないことを承認する。

令和元年 8月 20日

子ども・子育て会議委員 島浦 美智子

子ども・子育て会議委員 岩井 基